JZ

PCP-50

プリン写ル

取扱説明書

総合編

保証書別添

本書では、プリン写ルの各機能について
くわしく説明しています。

- 操作を始める前に、別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

RJA512255-1

CASIO

安全上のご注意

このたびは、本機をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品での表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければいけないこと」を意味しています。（左の例はプラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプターをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コード／ACアダプターのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

⚠ 警告

ACアダプターについて

濡れた手でACアダプターやプラグに触れないでください。
感電の原因となります。

水、異物はさける

水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。
窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。
破裂による火災・けがの原因となります。

インクおよびプリントカートリッジについて

- インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。
  目に入ったり、皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。
  万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクを誤って飲まないようにご注意ください。
  インクの成分には、硝酸塩が含まれております。万一、インクを飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリントカートリッジは、お子さまの手の届かない所に保管してください。
- プリントカートリッジは、改造および再利用しないでください。

⚠ 注意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない(必ずACアダプターを持って抜く)

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。

- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- 使用後は本体の電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

コネクター部への接続

メモリーカード挿入口などのコネクター部には、指定以外の物を接続しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

- **権利者が存在する画像などは、個人として利用するほかは、著作権法上、その権利者に無断で使用できません。**
- **紙幣、有価証券などの中には、その複写物を所有するだけでも罰せられるものもあります。**

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

こんなときは、どの説明書を読む？

使い始める準備は　できていますか?

はじめにお読みください

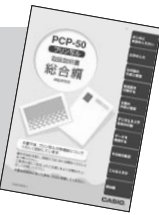
本機をお使いいただくための準備について説明しています。

- できることを簡単に知りたい
- デジタルカメラで撮った写真を印刷したい
- はがきの文面を作って、印刷したい
- 宛名を登録して印刷したい

カンタン入門ガイド(2冊)

本機の使いかたをイラストでわかりやすく説明しています。
すぐに写真やはがきの印刷をしてみたいというときに、お読みください。

- **はがき印刷編**
  宛名の登録と印刷、イラスト入りの年賀状の作りかた
- **デジタルカメラの写真印刷編**
  写真の印刷と写真入りの年賀状の作りかた

- 文字の入力のしかたを知りたい
- 宛名面の作りかたについて知りたい
- 文面の作りかたについて、もっと知りたい
- デジタルカメラで撮った写真を印刷したい
- 機械の調子がおかしい?

取扱説明書 総合編(本書)

本機の機能をフル活用するための説明が載っています。
機能別に説明しているので、目次や索引で使いたい機能がすばやく探せます。

- どんなイラストやデザインがあるか知りたい

デザインカタログ

本機に内蔵されているはがきのデザインやイラスト・見出しが紹介されています。
「デザインカタログを見ながら選びましょう」と書いてあるときは、このカタログを見ながら選んでください。

取扱説明書 総合編の読みかた

■マークの意味

重要　操作を進めていくうえで必ず守ってほしい注意や、できないことなどが書かれていることをあらわします。

▶▶　ほかのページでもっとくわしく説明されていることをあらわします。そこに書かれたページをお読みください。

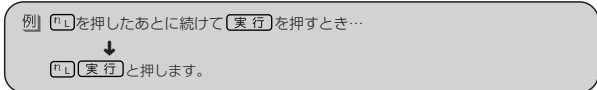
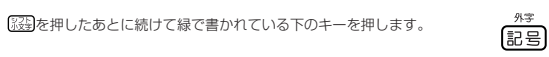
■キーのあらわしかたについて

●この取扱説明書 総合編では、操作を説明するときに使うキーを[れし]や[実行]などのようにあらわしています。

例　[れし]を押したあとに続けて[実行]を押すとき…
↓
[れし][実行]と押します。

●キーの上に緑で書かれている機能を使うには…

[シフト]を押したあとに続けて緑で書かれている下のキーを押します。　外字 [記号]

例　「外字」の機能を使うとき…
↓
[シフト][記号]と押します。

●操作手順の中で、「[∧][∨][<][>]を押して…」と書かれているときは、[∧][∨][<][>]のいずれかを押してください。4つのキーすべてを押す必要はありません。

※「取扱説明書 総合編」の印字例や画面の内容などは、実際と多少異なることがあります。

● **取扱説明書 総合編の使いかた**

●目的の操作を、はやく探したい…	➜「機能名がわかっている」「やりたいことがはっきりと決まっている」ときは、「目次」をご覧ください。1ページ目から順に、各機能ごとに載せています。
	➜「どんなことができるか知りたい」ときは、「やりたいこと目次」をご覧ください。できあがりのサンプルを見ながら、目的に合わせて機能を探すことができます。
●知らない用語が出てきたら…	➜「索引」(208ページ)をご活用ください。
●それぞれの機能のポイントや概要を知りたい…	➜各章のはじめのページに、それぞれの機能全体の紹介をしています。
●辞書を引くように項目を探したいなら…	➜インデックスをご活用ください。（章タイトル／タイトル）
●操作の途中でメッセージが表示されたら…	➜「こんな画面が出てきたら」(174ページ)をご覧ください。同じ画面を探して、原因と対処方法を見つけましょう。

目　次

第3章　住所録の作成と管理(宛名印刷前の準備)

第4章　宛名面を印刷する

第5章　文面の作成と印刷

第6章　デジタルカメラ写真の印刷

第7章　データを管理する

第8章　その他の設定

第9章　こんなときは

10章　資料集

やりたいこと目次

イラストや見出しなどを組み合わせて
オリジナルの文面を作りたい　122ページ

記号を入れたい　58ページ

文字の種類（フォント）を変えたい　66ページ

文字の色や形を変えたい　68･69ページ

写真を印刷したい　143ページ

写真の一覧を印刷したい　146ページ

本機の設定について知りたい	163ページ
本機の調子がおかしい?	174･179ページ
別売品について知りたい	204ページ

第 1 章

はじめに お読みください

使用上のご注意

本機を末永くご愛用いただくために、以下の点にご注意ください。

使用温度範囲は5℃～40℃（使用最適温度範囲：15℃～35℃）です。気温の低い場所から暖かい室内に持ち込むと動作部に露がつき正常に動作しないことがあります。このときは1時間以上放置してからお使いください。

長時間お使いになるときは、健康のため1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。

印刷中、登録･削除などの編集作業中、プリンタ調整中などに電源を切らないでください。

テレビなどとは別の電源コンセントを使用し、テレビなどから遠ざけて使用してください。

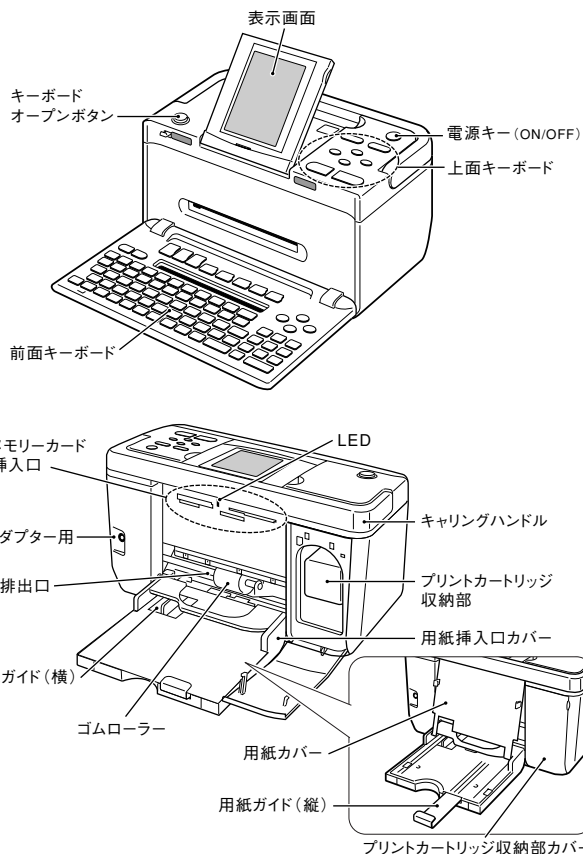
電源を入れたまま長時間放置しないでください。表示輝度の劣化を生じることがあります。

分解しないでください。

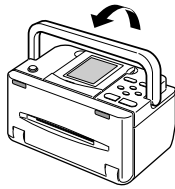
本機の上にものを乗せないでください。また落としたり強いショックを与えないでください。故障の原因になります。

電源を切ったあと、表示画面が完全に消えるまでACアダプターをコンセントから抜かないでください。

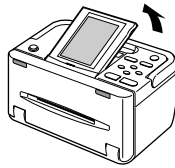
印刷中は絶対に用紙挿入口およびゴムローラー部に指を近づけないでください。
指がゴムローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

各部の名称

持ち運びのときは

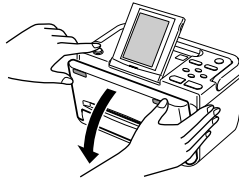
本機を持ち運ぶときは、図のようにキャリングハンドルを引き上げてお使いください。

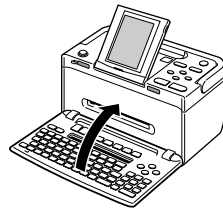
重要 「稼動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

表示画面の角度を調整する

表示画面は、図のように調整することができます。見やすい角度に合わせてください。

重要 「稼動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

前面キーボードを開く

文字を入力するときなどは、キーボードオープンボタンを押して前面キーボードを開いてください。

重要 「稼動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

● 前面キーボードを閉じるときは

前面キーボードを「カチッ」と音がするまで押し上げてください。

電源を入れる

重要 ご購入後、はじめて電源を入れるときは、リセット（初期化）、プリンターの調整、時計の時刻合わせなどが必要です。別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください。

ACアダプターを接続する

重要
- ACアダプターは必ずAC100Vのコンセント（通常の家庭用コンセント）に差し込んでください。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。

⚠ 警告

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。
- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コード／ACアダプターのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

ACアダプターについて

濡れた手でACアダプターやプラグに触れないでください。
感電の原因となります。

⚠ 注意

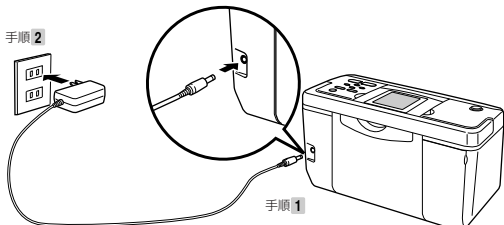
ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。
- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない（必ずACアダプターを持って抜く）

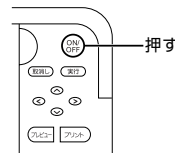
ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- 使用後は本体の電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する

1 付属のACアダプターのコネクターを、本体のACアダプター用端子に差し込みます。

2 ACアダプターのプラグを、ご家庭用のコンセントに差し込みます。

電源を入れる／切る

● 電源を入れるときは

電源が切れている状態で（ON/OFF）を押してください。

重要 本機をご使用になるときは、プリントカートリッジがセットされていることを確認してください。例えば、「住所録の作成」だけを行いたいときも、プリントカートリッジをセットした状態で行ってください。

● 電源を切るときは

（ON/OFF）を押してください。

重要 電源を切るときは、必ず、プリントカートリッジカバーがきちんと閉まっていることを確認してください。プリントカートリッジカバーをきちんと閉めずに電源を切ると、インクが乾燥してプリントカートリッジが使用できなくなったり、プリンターの故障の原因になることがあります。

● 使用後はACアダプターを抜いてください

1 （ON/OFF）を押して、電源を切ります。

2 表示画面が完全に消えたことを確認します。

3 ACアダプターのプラグを、ご家庭用のコンセントから抜きます。

4 ACアダプターのコネクターを、本体のACアダプター用端子から抜きます。

オートパワーオフ

約1時間、キー操作を行わないと自動的に電源が切れます。

使用できるメモリーカードと写真のデータ

本機は、メモリーカードに保存してある写真のデータを印刷したり、また本機に登録してある住所録などのデータをまとめてメモリーカードに保存することができます。

使用できるメモリーカード

重要
- 下記以外のメモリーカードを使用すると、本機およびメモリーカードの故障、破損の原因となります。
- 下記のメモリーカードでも、本機やカードの状態によっては認識できない、または正しく動作しない場合があります。

メモリーカード
コンパクトフラッシュ(TYPE I/TYPE II)※1
スマートメディア(3.3Vのみ対応)※2
メモリースティック※3
メモリースティック Duo※3 ※7
SDメモリーカード※4
mini SDメモリーカード※4 ※7
マルチメディアカード※5
xDピクチャーカード※6

※1 コンパクトフラッシュはSan Disk Corporation社の商標です。
※2 スマートメディアは株式会社東芝の商標です。
※3 メモリースティック、メモリースティック Duoはソニー株式会社の商標です。
※4 SDメモリーカード、mini SDメモリーカードは商標です。
※5 マルチメディアカードはドイツInfineon Technologies AG社の商標です。
※6 xDピクチャーカードは商標です。
※7 メモリースティックDuo、mini SDメモリーカードは、お手元のアダプターに取り付けたあと、本機に挿入してください。

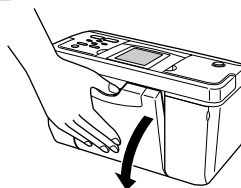
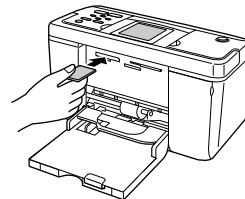
※メモリースティックPROは使用できません。
※マジックゲート機能が必要なデータは扱えません。

メモリーカードをセットする

- メモリーカードには表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。向きや角度に注意して、確実にセットしてください。
- メモリーカードを使う際は、メモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。

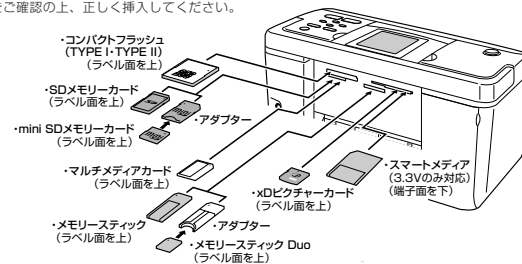
● メモリーカードをセットする

重要 メモリーカードを一度に複数枚セットすることはできません。

1 用紙挿入口カバーを開きます。

2 お使いのメモリーカードの挿入口に、メモリーカードを、ゆっくり、しっかり押し込みます。

- メモリーカードが正しくセットされると、LEDが点灯します。
- メモリーカードにアクセス中は、LEDが点滅します。

重要 メモリーカードは、必要以上に強く押し込まないでください。また、メモリーカードがセットされている状態で、用紙挿入口カバーを閉めないでください。本機およびメモリーカードの故障、破損の原因になります。

メモリーカードの挿入方向について

メモリーカードを挿入するときの、表裏と前後の方向は次のようになります。お使いのメモリーカードの種類をご確認の上、正しく挿入してください。

※メモリースティック Duo、mini SDメモリーカードは、お手元のアダプターに取り付けたあと、本機に挿入してください。

● メモリーカードを取り出す

1 メモリーカードをまっすぐ手前に引き抜きます。
LEDが消えます。

- 画面に「メモリーカードを引き抜かないでください」と表示されているときは、メモリーカードを取り出さないでください。
- 故障の原因となりますので、メモリーカード挿入口にはメモリーカード(+アダプター)以外のものを入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入口に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、ACアダプターを抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。

扱える写真のデータ

DCF準拠のデジタルカメラ(400万画素クラス以下)で撮影した写真のデータ(画像データ)です。
※パソコンで加工した写真のデータ(画像データ)は、正しく印刷できません。

データ形式の詳細
- DCF Exif 2.1(JPEG準拠)
- 最大画素数:2424×1818ピクセル(400万画素クラスの画像データ)
- 最小画素数:160×120ピクセル
- ファイルサイズ:3MB以下

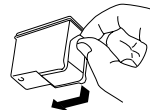
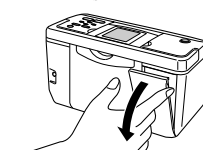
プリントカートリッジのセットと交換のしかた

印刷するときには、プリントカートリッジを使います。

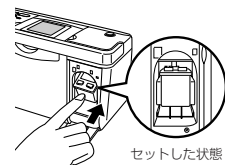
重要 必ず指定のプリントカートリッジをお使いください。(▶▶204ページ)

プリントカートリッジをセットする

1 ACアダプターを接続して、電源を入れます(▶▶17ページ)。

2 プリントカートリッジについているピンクのタブを引いて、透明のプラスチックテープをはがします。

3 プリントカートリッジ収納部カバーを開きます。
プリンターが動きます。

重要 「稼動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

4 プリントカートリッジを「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込みます。

セットした状態

5 プリントカートリッジ収納部カバーを閉めます。

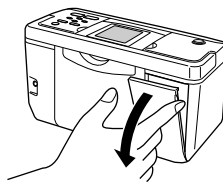
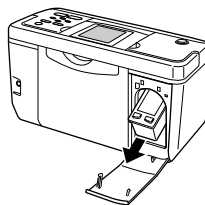
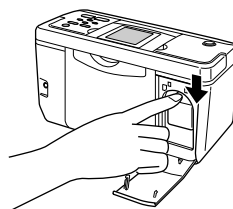
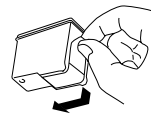
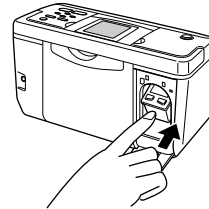
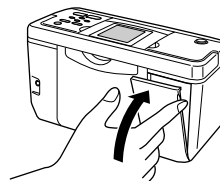
重 要 自動的に「プリンターの調整」を行います。
プリンター調整用の用紙をセットして画面の指示にしたがって操作してください。
「用紙のセット」▶▶28ページ
「プリンターの調整」▶▶169ページ

印刷できる枚数（目安）

1つのプリントカートリッジで印刷できる枚数は下記のとおりです。
はがき印刷：約400枚　　写真印刷：約230枚
※印刷する内容によって、印刷できる枚数は異なります。

プリントカートリッジを交換する

1 ACアダプターを接続して、電源を入れます(▶▶17ページ)。

2 プリントカートリッジ収納部カバーを開きます。

3 プリントカートリッジを下に押しながら手前に引きます。

4 新しいプリントカートリッジについているピンクのタブを引いて、透明のプラスチックテープをはがします。

5 新しいプリントカートリッジを「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込みます。

6 プリントカートリッジ収納部カバーを閉めます。

7 プリンターの調整を行います。
(▶▶169ページ)

プリントカートリッジ 使用上のご注意

- インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。 万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクを誤って飲まないようにご注意ください。 インクの成分には、硝酸塩が含まれております。万一、インクを飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリントカートリッジは、お子さまの手の届かない所に保管してください。
- プリントカートリッジは、改造および再利用しないでください。 なお、プリントカートリッジの改造やインクの詰め替えなどによって生じたプリンターおよびプリントカートリッジのトラブルについては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 振動や衝撃を与えないでください。また、金属部分には手を触れないでください。
- プリンターに装着するまでは包装を開封せずに、直射日光を避け、常温で保管してください。
- プリントカートリッジの包装に記載されている取付け期限までに使用を開始してください。 なお、良質な印刷品質を得るために、使用開始後６ヵ月以内に使い切ることをお勧めします。

用紙のセットのしかた

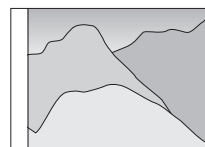
印刷する前に用紙をセットします。

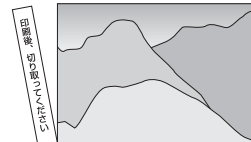
使用できる用紙

用紙	サイズ
はがき	(縦)148mm×(横)100mm
A6	(縦)148mm×(横)105mm
L判	(縦)127mm×(横)89mm
L判タブ付き	(縦)140mm×(横)89mm
4×6インチタブ付き (タブを切り取り後、10×15cm)	(縦)165mm×(横)102mm

●「タブ付き用紙」とは？

「切り取り可能な部分(タブ)」が付いている印刷用紙のことです。
本機で、はがき／A6／L判の用紙に印刷をすると、図のように余白ができます。

《L判》

本機で、L判／4×6インチ(10×15cm)の余白のない写真を印刷するときは、「タブ付きの用紙」をご使用になり、「フチ：なし」を指定して印刷を行ってください。
印刷後にタブを切り離すと、L判または4×6インチの余白のない写真ができます。

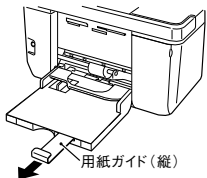
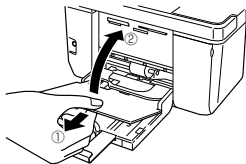
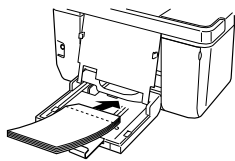
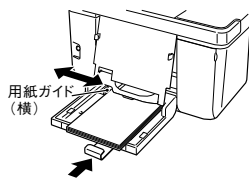
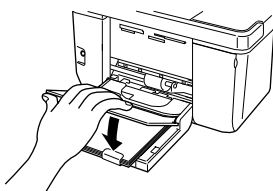
《L判タブ付き》

※「4×6インチタブ付き」印刷用紙は、下記のものをご使用ください。

《日本ヒューレット・パッカード株式会社 製》
・プレミアムプラスフォト用紙(Q1935A)

用紙をセットする

重要
- 用紙は、必ず、印刷停止中にセットしてください。印刷中に用紙の出し入れは行わないでください。故障の原因になります。
- 用紙どうしが静電気ではりついているときは、間に空気を入れるなどしてからセットしてください。
- 印刷中に用紙を追加することはできません。

1 用紙挿入口カバーを開きます。

2 用紙ガイド(縦)を手前に引きます。

3 用紙カバーを1～2cm上に持ち上げながら手前に引いたあと(①)、上に持ち上げます(②)。

4 用紙の右端を印刷面を上にして挿入口の右端に沿わせ、軽く止まるまで差し込みます。
- 一度にセットできる枚数は、20枚までです(印刷枚数は99枚まで設定可能です)。
- タブが付いている用紙は、タブが奥になるようにセットします。

5 用紙ガイド(縦)(横)を用紙に当る位置まで動かします。

6 用紙カバーをおろします。

印刷するときの注意事項

印刷前

●本体は平らな場所に置いてください。

●用紙挿入口、本体内部に用紙が残っていないことを確認してから、用紙をセットしてください。

●用紙を用紙挿入口の奥まできちんと当たるようにセットしてください。

●用紙どうしが静電気の影響などではりついていると、用紙がきちんと送れないことがあります。用紙と用紙の間に空気を入れてからセットするか、1枚ずつ印刷してください。

●用紙に反り、曲がりがあると用紙がつまる原因となります。用紙の反り、曲がりを直してからセットしてください。

●次のようなはがきや用紙を使わないでください。
- 表面が凸凹やザラザラのもの
- 折れ曲がったり、反りの激しいもの
- 一般の官製はがきにくらべて、極端に厚い紙や薄い紙
- 樹脂シートなどのインクを吸収しないもの

●用紙挿入口に一度にセットできる用紙は、官製はがきの厚さの場合で「20枚まで」、ポストカードの厚さの場合で「10枚まで」です(印刷枚数は「99枚」まで設定可能です)。

●プリントカートリッジが確実にセットされていることを確認してください。

●用紙排出口にものがないことを確認してください。

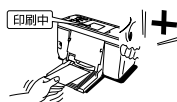
●プリントカートリッジがセットされていないと印刷の動作は実行されません。

印刷中

●本体を傾けたり、振動を与えたりしないでください。
印刷不良の原因となります。

●印刷中に用紙をひっぱったり、押し込んだりしないでください。
印刷不良や故障の原因となります。

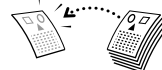
●用紙排出口をふさがないでください。
用紙がつまったり、故障の原因となります。

●印刷中には用紙を追加することはできません。
印刷中に用紙を追加すると、用紙がつまったり、故障の原因になります。
用紙を追加するときは、印刷中のすべての用紙の印刷が終わって「用紙エラー!」というメッセージが表示されたのを確認してから行ってください。

●21枚以上(官製はがきの厚さの場合)または11枚以上(ポストカードの厚さの場合)印刷するときは、印刷中のすべての用紙の印刷が終わって「用紙エラー!」というメッセージが表示されたのを確認したあと、用紙をセットして印刷を行ってください。

●印刷中は絶対に用紙挿入口およびゴムローラー部に指を近づけないでください。
指がゴムローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

印刷後

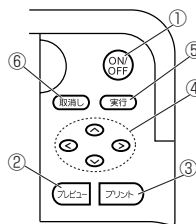
●印刷したものをひっかいたり、こすり合わせたりしないでください。
キズや汚れの原因となります。

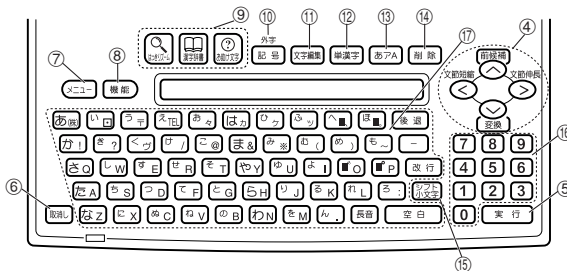
●印刷したものを重ねて放置したり、水にぬらしたり、ほかの紙にこすったりしないでください。印刷が写ってしまうことがあります。

●プリンターフォト用紙などの光沢紙に印刷すると印刷中央部分が汚れる場合があります。その場合は市販のセロハンテープなどを使い、ゴムローラーに付着しているゴミや異物を取り除いてください。
長時間使用しないときは、用紙挿入口カバーは閉めて保管してください。

キーの使いかた

本機には、たくさんのボタンがついています。ボタンのことを、この取扱説明書では「キー」と呼んでいます。
ここではキーのおもな使いかたについて説明しています。

● 上面キーボード

デジタルカメラの写真を印刷するときは、このキーボードだけで操作が行えます。

● 前面キーボード

文字を入力するときなどに使います。

①	ON/OFF：電源を入れたり切ったりするときに押します。
②	プレビュー：印刷の仕上がりを確認するときに押します。
③	プリント：印刷するときに押します。
④	↑↓←→：文字が入る位置を示した■や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押します。また、項目などを選択するときにも押します。
⑤	実行：操作を進めていくときに押します。
⑥	取消し：操作を取り消したり、中止するときに押します。
⑦	メニュー：メニュー画面を表示するときに押します。
⑧	機能：いろいろな設定をするときに押します。
⑨	操作キー（ ）：それぞれの「機能」を使うときに押します。また、操作の途中で困ったときに押すと、操作を最初からやり直すことができます。
⑩	外字 記号：キーに印刷されていない記号を入れるときや、自分で文字を作ったり、作った文字を入れたりするときに押します。
⑪	文字編集：文字の書体（フォント）や形を指定したりするときに押します。
⑫	単漢字：1文字ずつ漢字を変換するときに押します。
⑬	あアA：ひらがなやカタカナ、またはアルファベットを入れるときに押します。
⑭	削除：文字を間違えたときに押します。
⑮	シフト 小文字：いろいろな設定をするときに押します。間違って押したときは、取消しを押してください。
⑯	数字キー（テンキー）：数字を入れるときに押します。
⑰	文字キー：文字を入れるときに押します。

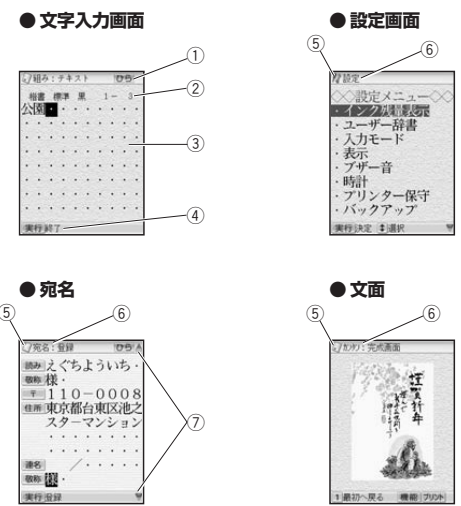
画面の見かた

本機の画面にはいろいろな情報が表示されます。

● 文字入力画面

● 設定画面

● 宛名

● 文面

①	モード表示行：入力についての状態を示しています。
②	文字修飾表示行：文字の修飾内容などを示しています。
③	作成画面：打ち込んだ文字や文書を表示します。
④	操作ガイド：操作に必要な情報が表示されます。
⑤	機能表示： …宛名作成機能のときに表示されます。 …文面作成機能のときに表示されます。 …デジタルカメラ写真印刷機能のときに表示されます。 …設定画面のときに表示されます。
⑥	モード表示行：現在表示している画面の情報を示しています。
⑦	▲▼マーク：画面からかくれている選択項目や内容があるときに表示されます。

● **カーソルのはたらきと動かしかた**

●文面や宛名面に文字を入れているときに、点滅する■が表示されます。これは位置を示した印で、カーソルと呼びます。カーソルが合っている位置で文字キーを押すと文字が入り、削除を押すと文字が消えます。

カーソル

●カーソルは↑↓←→を押して動かします。

↑	上にカーソルが移動する
↓	下にカーソルが移動する
←	左にカーソルが移動する
→	右にカーソルが移動する

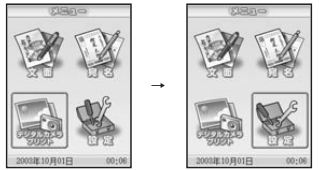
●画面にかくれている文字を見るためには、↑↓←→を押してかくれている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。

操作の進めかた

本機の操作を始めるには、まずメニューを押します。
メニューを押すと、メニュー画面が表示されます。
ここから、操作が始まります。

メニュー画面

1 メニュー画面では、機能の内容やできることがイラストで表されています。これをアイコンと呼びます。あなたがしたいことを選んでください。

どうやって選ぶの？
アイコンが赤い枠で囲まれているのがわかりますか？
↑↓←→のいずれかを押すと、赤い枠が動きます。あなたが選びたいアイコンに赤い枠を合わせてください。

→
2 したいことのアイコンを選んだら、実行を押します。
これで、あなたが選んだメニューにしたがって、操作が進みます。

3 操作を進めていくと、次々と選択画面が表示されます。
選択を間違えてしまったり、前の画面に戻りたいときは、取消しを押します。

選択画面について
↑↓←→を押して、あなたがしたい項目を反転表示させて選んでください。